

第6期町田市国民健康保険事業財政改革計画（案）の方向性とポイントについて

1 全国の国民健康保険財政

(1) 全国の傾向について

○国民健康保険(以下、国保)の加入者は高齢者や自営業者が多いため、医療費等にかかる給付費が多く、保険税収入が少ないという構造的な課題があり、多くの保険者(市区町村)は、国保の財政赤字を抱えていました。また、小規模自治体や高齢化が進んだ自治体ほど財政が不安定となりやすい問題がありました。

○国保制度は、全ての保険者の安定的な運営と財政基盤の強化が喫緊の課題でした。

(2) 国保の制度改正について

○2018年度に国保制度が大きく改正され、国による継続した公費投入を行うとともに、都が都内の国保の財政運営の責任主体となりました。この制度改正により、都が提示する納付金を納めることで、保険給付に必要な費用は全額、都から交付されることなど、国保制度の安定化のための仕組みが作られました。

○一方で、財政赤字のため、多くの保険者が一般会計から多額の法定外繰入等を行っている現状があったため、国や都道府県は保険者に対し、目標年次を定めた上で、計画的に赤字を解消するよう求めています。

<参考>全国の赤字自治体数及び目標数

赤字自治体数			国が定める赤字自治体の目標数
2016年度	2018年度	2021年度	2026年度までに50自治体
677/1718自治体	355/1718自治体	237/1718自治体	

2 町田市の状況

(1) 国保財政について

○全国的に赤字解消は進んでいるものの、市は赤字運営が続いています。

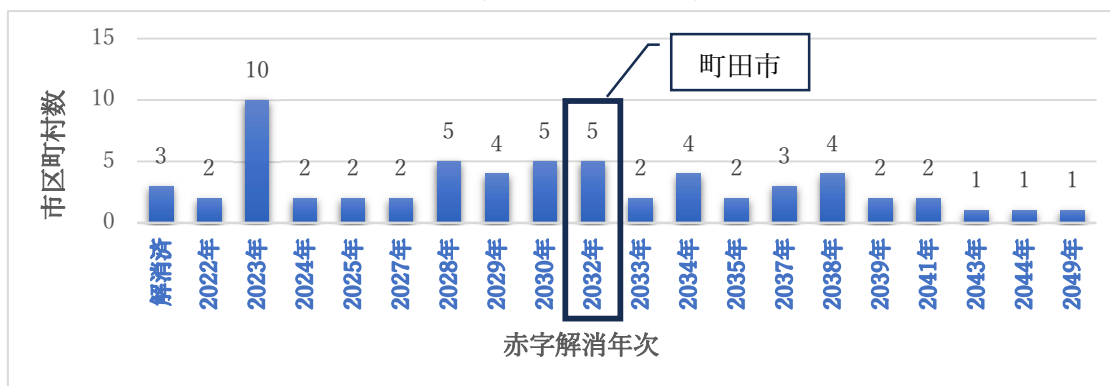
(2) 財政改革計画について

○町田市国民保険事業財政改革計画を策定し、赤字解消に取り組んでいます。

これまで、目標計画値のとおり赤字は減少しています。

○2023年度に計画期間が終了するため、第6期財政改革計画（2024～2026年度）を策定します。

<参考>都内62市区町村の赤字解消年次(2023年3月時点)



3 第6期財政改革計画の方向性

(1) 赤字解消スケジュールについて

赤字は「2027年度に13.3億円まで圧縮」、「2032年度に完全解消」する方針を継続します。

(税率改定等による赤字解消額 約1.5億円/年)

【第6期財政改革計画における赤字計画値】

【単位：億円】

	第5期計画			第6期計画			2027年	2032年
	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年		
赤字計画値	22.1	20.6	19.1	17.6	16.1	14.7	13.3	0.0
赤字額(実績)	21.3	20.3	—	—	—	—	—	—

(2) 財政健全化に向けた重点取組について

財政健全化に向けて「保険給付の適正化」、「医療費の適正化」、「保険税の徴収の適正な実施」の3つの重点取組を継続します。